

財団法人松翁会からシーラー機

二〇一〇年二月一六日 山陽新聞



箱崎事務局長から目録を受け取る田辺さん(中央)

松翁会(東)が寄贈 福山・引野

障害福祉施設へ作業機械

財団法人松翁会(事務局・東京)は15日、福山市引野町南の社会福祉法人アンダンテ障害福祉サービス事業所「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」(池田正則理事長)に、製造品の袋詰めをするためのシーラー機(60万円)を贈った。

アンダンテが運営する障害者自立支援施設「手づくり工房」(彦事務局長(58)が「こ

(同所)では、地元産のピオーネや保命酒などを使った8種類のかりんとうを月に千〜二千個生産。これまで使っていたシーラー機が老朽化し故障が相次いだことから、同会の社会福祉助成事業に申請していた。

同事業所で贈呈式があり、利用者ら約40人が出席。同会の箱崎一彦事務局長(58)が「こ

れで作業もスムーズになるでしょう。大事に使ってください」と述べ、利用者代表の田辺英晃さん(41)＝同市引野町＝に目録を手渡しした。田辺さんは「多くの人においしいかりんとうを食べてもらいたい」と感謝していた。

同会は安田財閥を築いた安田善次郎の追悼事業の一環として1922年に設立され、全

国の障害者福祉施設などに毎年助成。今年は17団体に計約1千万円が贈られる。

(村上達也)